



# 寄居ロータリークラブ 会報

## YORII ROTARY CLUB

UNITE  
FOR  
GOOD

よいことのために  
手を取りあおう

R.I.会長  
フランチェスコ・アレツツォ  
第2570地区ガバナー  
坂口 孝  
第4グループガバナー補佐  
橋本 和行



令和7年8月20日(水)  
会場 寄居町商工会Spark

## 第2775回例会

司会 豊田 康業(SAA)  
点鐘 下条 誠会長(12:30)  
ソング 我等の生業

### 1. 会長の時間

下条 誠さん

皆様、こんにちは。お盆休みは十分休養できたでしょうか。私は十分に休養し、散髪もしてきました。横と後ろは



6ミリのバリカンで刈り上げました。床屋さんに最も短い長さを聞くと、0.3ミリまでありました。さすがに0.3ミリだとかなり短く、変になるかと思ったので、一般的に少し短い6ミリで切ってもらいました。

今日は、散髪ではなく洗髪、シャンプー、頭を洗うことについて話します。私はここ3、4年間、髪の毛を洗うのに、シャンプーとリンスは使っていません。石鹸も使っていません。元々肌が弱く乾燥肌で、冬になるとフケがでます。ここ20年くらいは、本当にいろいろ肌に優しいシャンプーや保湿を維持してくれるシャンプー等を使ってきましたが、正直どれも明確な効果はありませんでした。

そこで、科学的な成分が含まれているものは自分に合わないと思い、天然石鹸成分の無添加シャンプーというのがあったので、使用してみましたが最初は何となく効果があったように思えたのですが、最終的には、あまり効果はありませんでした。

では今は何を使っているのかというと、重曹です。重曹シャンプーを使っています。いろいろと悩んでいたところ、ふと重曹が体に良い効果を及ぼすという記事を見て調べてみたところ、重曹シャンプーで乾燥肌対策になるという記事を見つけました。半信半疑ではありましたが、正直万策尽きた感があったので思い切って試してみました。これが大成功といえますか、少なくとも今までで一番良い感じですよ。耳障りの良い宣伝文句の高級なシャンプーなどよりも明らかに効果がありました。

だからといって、もちろんフケと乾燥肌が治ったわけではありません。多少気にならなくなったかなというレベルにはなりました。重曹シャンプーは、濃度1%の重曹水で

す。重曹もお掃除用ではなく、食用で天然の鉱物、ナトリウムの重曹を使っています。お掃除用の重曹ですと多少不純物が含まれていますので、少し良い重曹を使っています。良い重曹といっても、1キロ1,000円くらいです。この重曹をダイソーで売っているスプレーボトルに水と一緒に入れてシャンプーの代わりにしています。スプレーボトルの容量は300mLくらいですので、3gの重曹と水を入れれば簡単に完成します。重曹を入れすぎると、強いアルカリ性になってしまうので、洗浄効果が強くなりすぎ、逆に肌が荒れてしまうような感じがあるので、私のように肌の弱い人は濃度1%くらいがちょうど良いと感じています。髪の毛を洗うのは、この重曹シャンプーをスプレーし、本当軽く頭皮を洗う程度です。ここ3、4年やっていますが、特に問題はありません。

もう一つのポイントが、水です。水道水は消毒のために塩素が含まれているので、普通の人は感じないと思いますが、少し肌が弱いと、刺激のような嫌な感じがするの何となくわかります。そのため、塩素を取り除くシャワーヘッド、1,000円か2,000円くらいで売っているものですが、それに交換しました。重曹シャンプーと塩素を取り除いてくれるシャワーヘッド、この2つの組み合わせのおかげで、なかなか良い効果が出ているのではないかと思います。

ぜひ皆さんも、飲み水だけでなく、シャンプーなどをする水にも気を使うと、思いがけない効果があるかもしれませんので、試してみてください。ちなみに体も、タオルなどに石鹸をつけてゴシゴシ洗うと、かえって肌が荒れてしまうので、天然石鹸を手で泡立てて、タオルを使わず、手で全身を洗う程度にしています。

これらはあくまで、私の個人的な経験等の感想ですが、やはり人工的な化学物質よりは自然に存在する物質の方が人間の体には馴染むものが多いと思います。乾燥肌で悩んでいる方がいらっしゃいましたら、ぜひ一度お試しください。

さい。

本日は権田さんの卓話もありますので、会長の時間は以上とします。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 幹事報告

荻野 真仁さん

幹事報告をします。本日は一点です。前回お話ししました2026-27年の地区の副幹事の件です。2名選出してほしいということで検討した結果、城南観光の吉田正博さんと清水雄一郎さんをお願いをしました。担当は、吉田さんが会員増強委員会で清水さんが公共イメージ委員会です。本日の幹事報告は以上です。ありがとうございました。



## 3. 委員会報告

### (1) 出席推進委員会

柴崎 正さん

例会日	総員	欠席	出席	MU	出席率
8月20日	34	5	29	0	85.29%
8月 6日の修正出席率					88.24%

### (2) ニコニコボックス委員会

吉田 昌弘さん

下条 誠さん 権田さん、本日の卓話楽しみにしていました。思う存分語ってください。

荻野 真仁さん 昨日丸のサイクルヒットを生（ライブ）で見ました。感激しました。

松本 幸男さん 会長・幹事を終えて思いました。例会が1週休みになると久々な気がします。本日も猛暑日です。体調管理を怠らず元気に参りましょう！！

荻野 幸一さん 権田さん、卓話楽しみです。

吉野 泰久さん なんにも嬉しいことはないけど、BOXに協力しておけば何かいい事が起こるかも～吉田さんの福の神を期待！

佐橋 正行さん 権田さん、卓話よろしくお願いいたします。楽しみにしています。

小宮 俊光さん 本日早退の為、権田さんの卓話を拝聴できなくて残念です。後日ゆっくりマンツーマンでお願いします。

山口 正彦さん 権田さん、卓話楽しみです。しっかり聞かせていただきます。

柴崎 猛さん 相変わらず猛暑が続きますね。体調を整えて、この暑さを乗り切りましょう！

柴崎 正さん 権田功さん、卓話よろしくお願いいたします。

加藤 祐司さん 権田功さん、本日の卓話、楽しみにしております。

安齋治一郎さん 権田さん、卓話楽しみにしていました。宜しくお願いします。

津久井大雄さん 一昨日寄居町でNHKラジオ体操が開催されました。400名強の参加があり、盛大に行なわれました。町のPR不足が課題です。

赤坂 匠康さん 暑い毎日、皆様、御自愛ください！しかし、本当に暑い！

松本 則之さん カツ丼、おいしいです。会長の話を聞きながらいただきます。

橋本 則彦さん 権田さん、卓話楽しみです。本日もよろしくお願いいたします。

吉田 正博さん こんにちは。本日の卓話、権田さん楽しみにしています。先週のプロテスト1次は3日間トータル3アンダーでギリギリ通過しました。来月の2次もがんばります。

森田 淳一さん 目の関係上、サングラスをかけて参加することをお許しください。

高田 徹さん 権田さん、本日の卓話楽しみにしています。よろしくお願いいたします！

権田 功さん 本日は卓話の機会を頂き、ありがとうございます。よろしくお願い致します。

豊田 康業さん 今週末、岩手県紫波町の神社鳥居が引き渡しになります。地域の皆様にも喜んでいただき、ホッとしています。

野村 文昭さん 権田さん、卓話楽しみにしております。

押田 大助さん 権田さん、卓話楽しみにしております。

清水雄一郎さん 権田さん、卓話楽しみにしています。

石井 彩子さん 本日の卓話、楽しみにしております。

吉田 昌弘さん 権田さん、本日の卓話楽しみにしております。よろしくお願い致します。

## 卓話

権田 功さん

こんにちは。今日はお時間いただきありがとうございます。皆さんから「楽しみ」「楽しみ」と言われますと、かなりプレッシャーになりますね。いつも「楽しみです。」という方で、実際に話す側で「楽しみ」という言葉をあれだけいただくと、非常にプレッシャーを感じています。今日は20分ぐらい原稿を用意していましたが、確認したら30分とれるそうなので、後半はいろいろ話そうと思っています。



先ほどお配りした裏表のものは、話す内容に沿って簡単にまとめたものになります。後半まとめた資料にない話を詳しくできたらと思います。

オーガニックな暮らしを楽しむというコンセプトで、寄居オーガニックカウンスルという会を何年前に立ち上げ、ホームページも作り、今は更新しないままになっているのですが、その中では押田さんを紹介したり、寄居町で

有機農業をやっている人たちを紹介していますので、一度見てみてください。

では原稿に沿って進めていきたいと思います。会長より、オーガニックについて話して欲しいというお話をいただきましたので、オーガニックについて今日はお話します。

私自身建築という仕事をしています。オーガニックという観点から言うと、環境破壊のような気がします。どちらかというと私の仕事というのは、自然の側から考えたら、人の住みやすい環境だとか、（他にも）いろいろな工事をされている方もいますが、ある意味では整備という名の自然を壊すことになっているのかなと考えます。いつもその環境については考えながら、妻もオーガニックについて思うところは一緒なので、2人でいつもオーガニックについて考えて生活しています。そんな私ですのでいろいろとお話したいと思います。

もちろん皆さんもオーガニックについて知っていることも多いと思いますので、「そんなこと解ってるよ、」という話がたくさんあると思いますがその辺はご了承ください。今日は本当に基本的なところをお話し、最終的には日々の生活でこうしてほしいというご提案をしていきたいと思います。

オーガニックと聞くと多分皆さん、大体どなたも無農薬の有機野菜、もしくはオーガニック素材を使った食料品だとか商品が最初に浮かんでくるのではないかと思います。「オーガニックな物は割と高いんだよ」という印象も持っていると思っています。でもこのオーガニックという考え方は、本質的で、私達のような世代、もちろんここには若い方もいますが、ある意味、我々の世代に大切な生き方そのものであるという話です。私達の世代こそがこのオーガニックという考えに触れ、自分の生活や周りにちょっとした変化を起こし、少しずつでも社会に影響を与えて、今後変えていくことができたかなと思っています。

先ほどから言っているように、オーガニックというのが無農薬野菜だけでなく、資料にもありますが「自然との調和を大切にしたい生き方」「人や地球にやさしい持続可能な社会やもののつくり方」「人や社会、未来との繋がりを意識する暮らし方」ということができると思います。もっと言えば、まず「自分、家族、社会、未来を大事にする生き方」だと思います。これまで私たち人間は、自分たちの暮らしや、暮らしやすさ、生活の便利さを優先させるために、自然への配慮をおろそかにしてきてしまったと思います。ですので、私自身もこのままではいけないということで、いろいろとオーガニックの活動を日々皆さんにお願いしています。何しろ自然で健全な循環を守っていくことが、非常に大切なことです。

私自身も、仕事でも暮らしの中でもオーガニック的な考え方を取り入れるようにしています。小さなことでも、その積み重ねがこれからの世界を作っていくことになります。今生きている私たち自身が、次の世代に「健康な地球」を引き継いでいく責任があると思います。そのために

これからお話しますので、皆さんの生活の中でもそれらをすこしでも心がけてもらえたらと思います。

オーガニックというのが何か、もう少し具体的にお話します。オーガニックというのは、「人にも自然にも優しい」ことです。農業でいえば、化学肥料や農薬をなるべく使わず、自然に任せて作物を育てることです。当然それによって土も水も空気も守られますし、人にも優しい作物が育ちます。私たちにとってその無農薬の安心安全な野菜が大切です。どうしてもオーガニックという無農薬野菜に注目してしまいます。でも実際には、そのオーガニック野菜が生産される環境や工程についても、非常に配慮していることが重要です。一般的な化学肥料や農薬を使った作物は当然、虫もついていませんし、生育も良く、収穫量も多く、見た目も綺麗で大きく育っています。できた野菜はすぐ立派です。その代償として、その畑では化学肥料の三大要素、「窒素」「リン酸」「カリ」を定期的に与えて、作物を育てたわけですから、作物は大きく立派に育ちますが、実際の土壌内では養分バランスが壊れています。微生物の多様性がなくなったり、生態系のバランスも崩れ、その土壌の本来の自然循環というものは崩壊してしまっているわけです。土壌の自然循環とはどういうものかということ、植物が枯れたり落ち葉が落ちたり、動物の死骸や虫の死骸などそういったものが、土壌に含まれている微生物や虫によって分解され、それが土壌中の栄養素となって、その養分をまた植物が吸って育つ。そしてまた土に戻ってという、この繰り返しが自然循環です。しかし化学肥料や農薬を使った土壌では、その循環が損なわれてしまいます。それがさらに進んでいくと土壌は酸性化し、余剰の「窒素」「リン」が環境汚染にも繋がっていきます。「リン」が水に溶けて川に流れたり、池に大量に流れ込むと、そこにはアオコが発生するような現象も起こってしまいます。

私はもう5年ぐらいになりますが、母と話して、私のエリアは自然農法風の野菜作りをしています。本当に草原です。草原の中にナスやきゅうり、ピーマンが植えてあります。一見遠くから見るとただの草原で、そこにナスの花が咲いているという状況です。元々農家でしたので、今もそうなのですが、母は（畑や敷地周りの）草むしりをしないといわれません。皆さんのお宅もそうかもしれませんが、街道に入ってきて草が生えていることが気になり、特によその人が来るところに草が生えていることは気になって仕方がないのでしょう。もう90歳になるのですが、時期になると時間があれば朝から晩まで草むしりをしています。それではオーガニック・自然農法としては困るので、私のエリア、大体自宅の1／3ぐらいは「ここは私が自然農法でやりたいので、草むしりをしないでください。」と話合い、草むしりなしの区域にしてもらっています。畑の土づくりは初めの3年間は、これまでは父が普通に化学肥料も使っていたので、草もあまり生えませんでした。土壌は良いので、肥料をやっていたので黒い土なのですが、草もなかなか生えません。それで3年目ぐらいでや



っと全体に草が生えて、今年の春はやっとほぼ土が見えないようになってきたぐらいです。その土作りを一生懸命やっています。多分畑をやっている方はわかると思うのですが、表面に土が出ていると耕さないと土は硬くなります。毎回耕作して、そのまましばらくすると土は硬くなってしまいます。だから当然、また耕運機で耕すことになります。それを自然農法では土の表面を草で覆っておくと、不耕起栽培が可能になります。要は、耕しません。耕さなくても済む様になります。どういうことかという、草の根っこが常に土の中にありますので、硬くならないのです。それなので、耕すことはしない。そしてできるだけ肥料も与えない。ところがまだ我が家の場合は、やはり有機肥料を多少与えないと育たないものもあり、大変です。

原稿に戻りますが、特にオーガニックという場合、やはり代表的なのが、人の肌に優しいオーガニックコットンを使ったシャツとか下着があると思います。オーガニックコットンは、当然肌に刺激が少ないので、当然敏感肌の人や赤ちゃんにも非常に優しい天然繊維の代表的なものです。なぜオーガニックコットンが代表的かというと、普通のコットンを栽培する場合は、大量の農薬や化学肥料を使わないとできない現状があり、その環境への悪影響や生産する農家の人たちの健康的なリスクもあります。そういうことで、オーガニックコットンというのが、「環境にやさしい」「人にやさしい」「社会にやさしい」という三拍子揃ったオーガニック素材の代表的なものとよく言われています。また私の仕事の家作りとか住まいの場合は、当然自然素材を使った家作りで、断熱性能を高めて、設備なども省エネ、消費エネルギーを減らす工夫をした家作りが大切だということだと思っています。

次に、消費することに関しては、地元を選んで、地産地消することです。あとはリサイクルとかリユースということを意識してほしいと思います。地産地消は皆さんご存知のように、地元のを地元の人間が消費することです。当然、輸送コストや排出ガスを減らして、その地域で食べることによって環境負荷を小さくし、地域経済にも貢献できることになるので、できるだけ地産地消を心がけて欲しいと思います。

それから、プラスチック。プラスチック製品というのは便利で使いやすいですが、皆さんも知っていると思いますが、ゴミになったプラスチックが川に流れ、海に流れて行きます。そうしたときに、環境汚染であったり、燃やせば温暖化の原因になったりするということで、非常にその辺が今、問題ですし、これから問題になっていくと思っています。後でプラスチックの話を詳しくします。

それに対して、素材をオーガニックな素材、生分解できるような製品に切り替えることで、地球に地球への負担を減らしてもらいたいと思っています。

こうしていろいろなものを考えて選ぶ時、オーガニックか、オーガニックでないか、という日々選択の連続です。要は暮らしの中でどう選ぶか、必ず全てが当然オーガニッ

クなものがあるわけではないので、全てオーガニックでということは、今はまだ難しいと思います。ですからできる範囲でオーガニックを選んでいただき、その選ぶということで未来をいい方向にしていこうにしたいと思っています。



それから最近社会で言われているサステナビリティという言葉も一緒に語られることが非常に多くなっていますが、これもSDGsと深く繋がっていて、SDGsの中の17項目のうちの12項目がオーガニックに関わるものと言われています。

生活の中で実践できることがあると思うので、紹介していきます。皆さんも食べ物、食事のときには、できる限り無添加、遺伝子組み換えでない素材のものを選んでほしいと思います。また、コーヒーはよく飲む方多いと思いますが、私自身もコーヒー豆は、フェアトレードやオーガニックの豆を選んで飲んでいきます。できるだけ皆さんにも心がけていただきたいと思います。フェアトレードについては皆さんも知っていると思いますが、生産者を支援するための仕組みです。適正な価格で取り引きし、生産者の生活向上と自立を目指し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとなっています。当然自然農法で栽培されたコーヒーとかコーヒーの生産環境に配慮されて育ったコーヒー豆ということで、フェアトレードとオーガニックの豆というのを選んで皆さんも飲んでほしいと思います。

先ほど会長からも出たシャンプーですけど、シャンプーや洗剤は、やはり合成香料や化学物質の少ないものを使って欲しいです。洗剤に含まれている界面活性剤などが、排水に含まれてそれが川に流れ、環境を汚染したり破壊したり

する要素となります。ですから、私達の体に使うものも含めて、やはりできるだけオーガニックを心がけて欲しいと思います。

またプラスチックについて少し話します。今、一部の環境問題の話で、今一つ大きな話題にはなっていません。それが「マイクロプラスチック」や「ナノプラスチック」の問題です。前にも言いましたが、プラスチックが不法投棄や正しく廃棄されずゴミとなり川や海にまで流れ、環境汚染となってしまうたり、少し前ですが、ビニールをクラゲと間違えてウミガメが食べてしまい、そのウミガメのお腹の中にビニールが入ってしまって、消化されないまま死んでしまうというような、ウミガメだけでなく、海の動物がいたりします。そうした問題もほんの一部の問題に過ぎません。かといって、これだけ便利なプラスチック製品を、今の時点でなくすことはまず無理です。これまで廃棄されたというか、ゴミになって環境に紛れ込んでしまったプラスチックが、その蓄積された汚染というのは、もう無くすことはまず不可能に近い状況だと思います。ニュースで見たこともあると思いますが、深海の一部では、ビニールとかプラスチックのゴミが沈殿して溜まっているエリアがあります。そういう状況で、本当にあらゆるところにプラスチックが紛れ込んだり蓄積されているので、もうどうにもならない状況です。マイクロプラスチックというのは初めから小さいわけで、例えば今、私達が飲んでいるそのペットボトルですが、そのペットボトルもリサイクルされず廃棄されて、それが劣化し砕けて小さくなり、だんだんだんだんマイクロプラスチックなり、ナノプラスチックなり環境の中に紛れていきます。どのように環境の中にあるかという、あまりにもマイクロプラスチック自体が小さいので、プラスチックのゴミよりも水に混じりやすいわけです。それなので、川や海に流れ込みやすいです。そうすると、魚や貝がそれを間違えて、飲んでしまう。そして食物連鎖によって私たちの体内にも蓄積される形になります。実はオーガニックの無農薬、有機野菜作りというのも、実際にはどうしても、農地の方にも大量に紛れ込んでいます。理由は農業用ビニール、農業資材です。今、たくさんのビニールやプラスチックが使われています。それが劣化することで、畑の土壌中にも紛れてしまいます。ですから私の友人はマルチに黒いビニールのマルチを使わない人もいます。紙のものしか使いません。ビニールのマルチシートは我が家にもあります。しかし使うのであれば劣化させない。私の父や母は使ったものを取って置き、また翌年使ったり、2、3年使ったりしたのですが、本当はそれはいけません。やはり新しいうちに捨てて欲しいということです。それから、ナノプラスチックは非常に小さいので、実は空気中に浮遊しています。ですから私達が呼吸することで、そのナノプラスチックは体内に摂取されます。なぜこれが困るのかというと、プラスチックはやはり分解されません。数百年残る可能性があり、自然の循環を妨げます。我が家では、栄養としていいのでアサリやシジミの味噌汁を食べ

ます。本当はプラスチックの摂取から考えると、魚は内臓を食べなければプラスチックはあまり体内に入りません。あさりやシジミ、ムール貝など貝類は丸ごと飲み込んでしまうので危ないです。貝類はマイクロプラスチックを間違えて飲み込み、それを我々は丸ごと食べてしまう。ですので、貝類に関しては、マイクロプラスチックを人間が摂取する可能性は極めて高いと言われています。さらに塩です。海水から作った塩が多いですが、実はマイクロプラスチックが、塩を海水から作るので混じってしまいます。世界の研究者が調査しましたら、食塩の中にはマイクロプラスチックが含まれていることがわかっています。でも皆さんが食事を作ったり、食事のときに塩をたくさんかけることは少ないので、毎日の摂取は微妙であると考えられます。また飲料水。これはどうにもなりません。例えば、ペットボトルの飲料水。いろいろな天然水などありますが、このようなペットボトルの水に、ペットボトルからマイクロプラスチックやナノプラスチック、化学物質が実は溶け込んでいるというのが研究者によって発表されています。特に良くないのは、ペットボトルが劣化することです。プラスチックですので可塑剤だとか、いろいろな添加物が入って成形されています。その添加物自体が水の中に微量ですが溶け出してしまいます。ですから、できるだけペットボトルの再利用はやめて欲しいというのが、マイクロプラスチックによる環境問題の中でよく言われています。普段からペットボトルを持ち歩いて、水やお茶を飲んでいると思います。できれば、今言ったようにマイクロプラスチックは環境の中に、そこら中にあるのでやめたほうがいいです。少しでも自分から摂取するのをやめるということになると、自分が使っている容器、それから直接飲む事がよいと思います。マイクロプラスチックやナノプラスチックの摂取を控えるためには、やはりプラスチックの容器自体を減らすことです。ステンレス、セラミックはどうですか。そういうものに変えて、水やお茶を持ち歩くことをお勧めします。それから水道水。これからもマイクロプラスチックは摂取されます。水道水は浄水所で（川の水などを）ろ過するわけですが、マイクロプラスチックは小さいので、完全に取り除くことができません。ナノプラスチックも小さすぎるので一般的な浄水器では除去できません。我が家では、もう長年浄水器を使っているのですが、我が家の浄水器でもナノプラスチックに関しては、マイクロプラスチックまでは除去できますが、ナノプラスチックは除去できないということが最近わかりました。完全に取り除くことができないので我慢するしかないのだろうか。先ほど話した空気からの摂取もナノプラスチックは小さいので、塵よりも小さいですから、環境や場所によって違いますが、当然呼吸することで摂取してしまいます。

皆さん、普段着ている合成繊維、フリース、ナイロンなどの繊維のクズがです。そのクズは目に見えないマイクロプラスチックとなりナノプラスチックになります。また、タイヤの粉塵。皆さん車に乗りますね。そしてタイヤは道

路によってあれだけ削られているのですから、タイヤ等の粉塵が環境に影響しないわけがないです。それはわかっていますが、それをどうするのか。劣化したプラスチックや化学製品の粒子が空気中であって、それを吸い込んでしまう。非常に怖いのはナノサイズのもの、血液中まで入り込みます。研究者の方が、人間の血液を分析すると、ナノプラスチックが摂取されているということです。

大切なのは世の中にある、そういうマイクロプラスチックやナノプラスチックなど見えないものでも、少なくとも自分の体にこれ以上の摂取を抑え、社会にそういった環境を汚すものは増やさないということ。まず使い捨てる暮らしを減らし、正しく回収すること。ですから、社会や地方自治などで決められたゴミの回収方法をきちんと守り、それらをきちんと回収するということです。要はその辺にものを捨てない。捨てたものがゴミとなり環境汚染にならない配慮をする。そして、その材料には自然に還る素材を使う。また、リサイクルや循環を考えましょう。プラスチックはリサイクル率が低いので、プラスチックはこれから減らしていかなければならないと思います。皆さんにもどうか考えて欲しいです。何しろ知らないうちに、食べ物、飲み物、空気といった日常生活全てをマイクロプラスチックやナノプラスチックは変えてしまいます。実際にはその因果関係で、これらのことから病気になったという報告はされていません。ただ懸念されていることは、体内で炎症を起こしたり、一番の問題はホルモンバランスが崩れていくのではないかということがあります。

オーガニックという言葉には、「自然と調和する」「人と繋がる」「未来を考える」そんな意味も込められています。今日の食事、明日の買い物。一つ一つの選択肢の中で、少しでもオーガニック的な視点を入れてみてください。私達の世代が率先してこうした生き方を実践すれば、子供や孫たちにとっても希望のある未来が開けていくと思います。まさにロータリークラブの「超我の奉仕」にも通じるものと私は思います。

最後にオーガニックの話は、心の豊かさにも繋がるということ、是非、実践、実感し、生活していただけると嬉しいです。本日はご清聴、ありがとうございました。

下条 誠会長より質問

権田さん、ありがとうございました。今回話に出ませんが、以前南寄居駅の駅構内でオーガニック野菜の販売をしていたと聞きましたが、その活動は今どうなっているのか、また今後そのような活動は再開できるのかどうか教えてください。

権田 功さん

南寄居駅での販売は復活しません。理由は有機農家さんが野菜を提供するのが大変な状況にあります。元々はホンダの社員さんをメインに販売していたのですが、シフトが変わったり、コロナで勤務体制が変わり、お客さんが減ったという事情もあります。

その後、私たち（寄居オーガニックカウンスル）の会長が今「古民家クイジヌ ウサギのテーブル」（寄居町末野 569 ㊟090-4472-0214）というお店をやっています。ぜひ時間があったら行ってみてください。寄居市街では、「泊まれるオーガニックレストラン mu j a q u i / むじゃき」（寄居町寄居 908 ㊟050-8884-8162）イタリアンです。それから喜楽さんの息子さんの「寧日」（寄居町寄居 568-1 インスタグラムより要予約）もかなり食材にこだわっていて、提供しています。ただ「寧日」は予約しないといけないので厳しいです。あと「喜楽」さんも一部オーガニックの野菜を使って、季節の食材を提供していると思います。それからまだパンフレットができていないのですが、毎年「よりい里山文化祭」を開催しています。今年もやりますので、寄居町で、オーガニックな生活を楽しみながら頑張っている人たちを応援していただければと思いますので、是非お時間を取って訪ねてみてください。今後も先ほど（会長からご質問が）あったような活動もやりたいと思っていますが、オーガニックをやっている（農家の）方たちにも事情があり、大量生産できません。ですので、今後どのようにしていくかは今後の課題です。以上です。ありがとうございました。

点鐘 会長 下条 誠さん

国際RC第2570地区第4グループ 寄居ロータリークラブ

E-mail yorii-rc@carrot.ocn.ne.jp

2025. 8. 20

会

長

下条 誠

会報・雑誌委員長

加藤 祐司

No. 5

幹

事

荻野 真仁

副委員長

森田 淳一

・例会日時 毎週（水）12:30～13:30

・例会場 Spark（寄居町商工会）

・住 所 寄居町寄居1228

・TEL 048（581）2468

・FAX 048（581）3530